

学位論文審査の結果の要旨

| | |
|---|---|
| 氏名 | WEN JIAWEI (温 佳伟) |
| 審査委員 | 主査 小林 一 (印) 副査 古塚 秀夫 (印) 副査 谷口 憲治 (印) 副査 糸原 義人 (印) 副査 石田 章 (印) |
| 題目 | Development of Accounting System for Chinese Agricultural Enterprise -Financial Accounting Software and Business Analysis Software- 中国農企業を対象とした会計システムの開発研究 —財務管理システムと経営分析システム— |
| 審査結果の要旨 | |
| <p>本研究は、中国農業を対象にした専用の会計システムの開発と普及が立ち後れた状況にある実態を鑑み、農業および農業関連分野における企業の経営発展に資するねらいで、専用の会計システムの開発を目的として取組んだものである。</p> <p>研究の独創性は、中国の農企業会計原則に立脚し、財務管理とビジネス分析の2つの機能を組み込んだ会計システムを独自に開発し、現地実証試験を通じてその有効性を確認したところにある。中国国内では農企業向けに開発された希少なソフトウェアの一つとなっている。また、システム開発の方向性を明確にする目的で財務会計ソフトウェアの利用に関する農業経営実態調査を実施し、中国を代表する農業地帯である黒龍江省の農企業における財務会計ソフトウェアの利用状況を分析して、システム開発の方向性、並びに普及定着条件を明確にした点も貴重な成果である。</p> <p>中国では、1978年に最初の財務会計ソフトウェアが開発されたが、以来、目覚ましい発展を遂げ、今日では各業種に即して財務会計ソフトウェアが開発され、利用環境は大きく変化してきた。こうした状況を踏まえ、政府は農企業に対しても会計情報の管理を重視し、会計規則の改革に取り組んできたものの、他産業に比べて農業分野では財務会計ソフトウェアの普及率は低い水準にとどまっている。また、中国で利用可能な財務会計ソフトウェアがようやく一定数存在するようになったとはいうものの、財務管理とビジネス分析のための情報システムは分離した状態ではなく、一体的に取り扱い、ビジネス分析については簡易な内容の製品が大半である。これらの会計システムは、農企業向けの専用の製品ではないことに加えて、高性能のコンピュータを前提にした高価格なシステムであり、操作性が複雑で有料のアフターサービスを要するものが多い。</p> <p>このような実状を踏まえ、農企業を対象とした会計システムの開発方向を鮮明にする目的で、黒龍江省を主な対象地として財務会計ソフトウェアの利用に関する実態調査を実施した。そして、農業および農業関連産業分野における財務会計ソフトウェアの利用率が低いことを実証するとともに、企業</p> | |

の責任者および会計係、ソフトウェアの特性を視座に入れ、2項式ロジスティック回帰分析を用いて、財務会計ソフトウェアの利用普及上の阻害要因に係わる以下の特徴点を明確した。①財務会計ソフトウェアの利用に対し、企業責任者の高年齢は阻害的に作用し、会計係の一定人数の確保は逆に肯定的に作用している。②会計係が持つ学歴レベルは、財務会計ソフトウェア利用上の重要な要素となっている。③財務会計ソフトウェアの特性として、データ処理上の安全性・正確性の欠如は利用上の阻害要因となり、他方、ソフトウェア機能の適切性および機能更新の適時性は利用に対し促進的な関係をもつ。

会計システムの開発に際しては、プログラム言語に Microsoft Visual Basic 6.0 と C++ Builder2009 を利用し、データベース構築のために Microsoft Access 2007 と 2010 を適用した。本システムの主要な構成は、財務会計システムについては初期設定、簿記記帳、財務諸表作成・管理の4つ、ビジネス分析システムについては財務諸表分析、損益分岐点分析の2つから成っている。これらの機能を活用することにより農企業の経営管理を強化し、企業の投資行動のための効果的な意思決定に役立てることが可能となる。財務会計システムの部分では、簿記記帳を開始する前のユーザによる初期設定の作業を容易にするよう工夫した。また、勘定科目を用いて会計実績データを入力する際には、できるだけ作業を軽減できるよう自動入力機能を装備しており、蓄積したデータについては、元帳、仕訳帳、財務諸表、関連補助簿等を用いて簡便に自動出力させることができる。ビジネス分析システムの部分では、既存のソフトウェアと比較して分析作業を効率的かつ簡便に行なうことができ、計算結果をわかりやすく図表化して表わすことにより、企業の投資行動のための効果的な意思決定に向けて有益な資料やデータを導出することができる。

本システムの開発に際しては、現地実証試験のために中国黒龍江省のトウモロコシ加工農企業と大豆加工農企業から協力を得た。現地実証試験の実施を通じてソフトウェアの改良を重ねたことにより、本システムが農企業の財務管理とビジネス分析に対して有益なツールとして役割を發揮することを結論づけることができた。これらの現地実証試験による実際の適用効果に基づいて考察すると、開発した本会計システムが備えた財務管理とビジネス分析の専用性と体系的性、データ処理の迅速性と正確性、操作の簡便性、価格の低廉性等特長から、中国国内の農企業に対して普及の可能性が充分に見込めると判断できる。

以上の特徴に照らして、本研究が学位論文として十分な価値を有しているものと判断する。